

# 2019年2月 話題広告賞



いっしょに、  
食べよう。

JA長野県グループでは、休耕田などを活用して、お米を作り、食料不足に苦しむ国へ送る「国際協力田運動」に取り組んでいます。一畝の田んぼから始まったこの活動は、JA・小学校・住民ボランティア等の協力によって活動の輪が広がり、県下各地に国際協力田が定着しました。2018年度の参加人数は965名、計3,254kgのお米を収穫することが出来ました。収穫したお米は、マザーランド・アカデミー・インターナショナル(命の尊しを尊ぶを行動で子供たちに伝える母の会)を通じて、毎年1月にアフリカ・マリ共和国へ国際協力田米として送られます。自分たちが育てたお米を、約19,700km離れた海の内こうの友達と「一緒に食べる」ことで、相手を思いやることの大切さを、たくさんの人とともに考え、お米でつながる「絆」をもっともっと強くしていきたいと思っています。

JA長野県グループ JA長野県農政対策会議  
お問い合わせ先: JA 長野中央会 農政対策課 〒380-0626 長野市北石籠町 1177-3 TEL:026-236-2030 E-mail:house@chc.jnhk.or.jp

マリ共和国

アフリカ・アフリカ支援米・国際協力田  
産地から消費地まで

2019年2月24日付 15段

JA長野県グループ [扱い ながのアド・ビューロ/制作 相澤デザイン室]